

フィトポリアミン

I型コラーゲンを産生促進するポリアミンを含有したコムギ胚芽エキス

【特長】 生体内アミンであるポリアミンを含有した植物由来エキス
皮膚の弾力に欠かせないI型コラーゲンの産生促進効果が高い
糖化を防ぎ、コラーゲン繊維の架橋形成を抑制する

【コンセプト】

フィトポリアミンは独自の技術により
ポリアミンを高濃度に含んだコムギ胚芽エキスです。

ポリアミンとはアミノ基をもつ直鎖状脂肪族炭化水素であり、動物、微生物に広く偏在する生体内アミンです。

プトレスシン $\text{NH}_2(\text{CH}_2)_4\text{NH}_2$

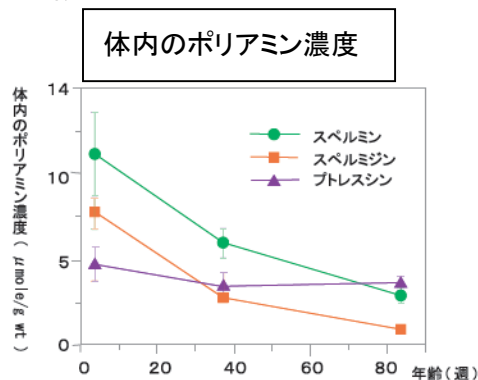
スペルミジン $\text{NH}_2(\text{CH}_2)_3\text{NH}(\text{CH}_2)_4\text{NH}_2$

スペルミン $\text{NH}_2(\text{CH}_2)_3\text{NH}(\text{CH}_2)_4\text{NH}(\text{CH}_2)_3\text{NH}_2$

ポリアミンは細胞の増殖や成長に不可欠な成分で、人間の体内にも存在しています。

尚、ポリアミンとは、**プトレスシン**、**スペルミジン**、**スペルミン**の総称です。

ポリアミンは表皮に多く含まれており、外的ストレス(紫外線、乾燥、温度変化など)から、肌を保護する効果がありますが、加齢に伴い減少します。



(Experimental Gerontology, 17, 95-103, 1982)

ヒト組織におけるポリアミン含量

組織	ポリアミン含量 (mg/Kg)	
	スペルミジン	スペルミン
皮膚(表皮)	150	850
皮膚(真皮)	65	90
脳	140	58
前立腺	48	493
すい臓	165	427
精液		2020

(Arch. Dermatol. Res. 275, 218-221, 1983)
(Scand. J. Clin. Lab. Invest. 21, 10, 1968)
(Ann. NY. Acad. Sci. 171, 882-894, 1970)

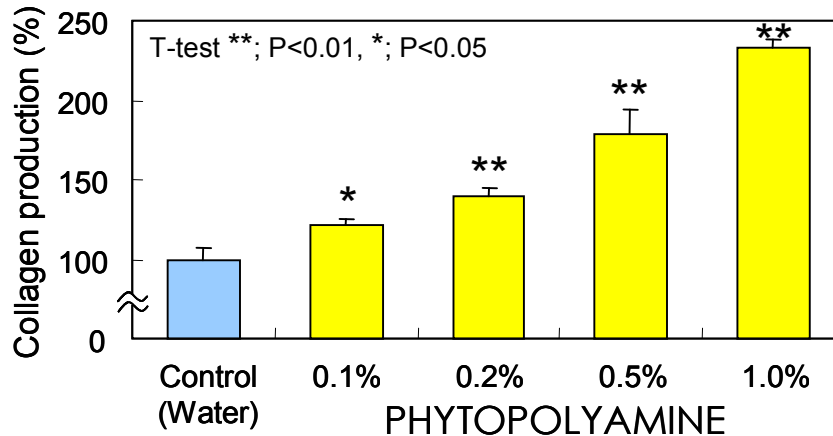
ポリアミンは母乳にも含まれており、赤ちゃんの皮膚には多く存在し、赤ちゃんの肌を守っています。ポリアミンには、**I型コラーゲン産生促進**、**抗糖化**の作用があり、皮膚の弾力には欠かせない成分のひとつです。



【効能・効果】

① I型コラーゲンの産生促進効果

コラーゲン産生促進：I型プロコラーゲンC末端ペプチドを、Procollagen type I C-peptide (PIP) EIA Kit (TaKaRa社製)で測定



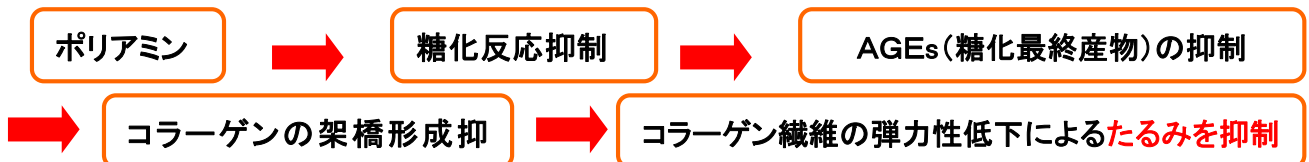
ヒト繊維芽細胞を用いた実験からフィトポリアミンには濃度依存的に高いI型コラーゲンの産生促進作用があることが確認された。

②糖化反応を抑制し、コラーゲンの架橋を防止

皮膚中モデル(皮膚中のグルコース濃度:2.5mM)	糖化形成(架橋形成率)
ラミニン	0%
ラミニン+グルコース(2.5mM)	100%
ラミニン+ポリアミン(2.5mM)	0%
ラミニン+グルコース+ポリアミン(0.025mM)	49.36%
ラミニン+グルコース+ポリアミン(0.25mM)	13.76%
ラミニン+グルコース+ポリアミン(2.5mM)	0%

ポリアミンは、肌のハリ・弾力低下の原因である糖化反応に対して、優れた抑制効果があります。

ポリアミンのアミノ基がグルコースのカルボニル基に結合することでタンパク質との反応を抑制し、糖化反応を抑制します。



【商品情報】

商品名：フィトポリアミン

表示名称：コムギ胚芽エキス

医薬部外品表示名称：コムギ胚芽エキス

販売元：株式会社マツモト交商